

施策評価調書（行財政改革）

施策名	4	協働しやすい環境づくり		施策を取り巻く環境変化	H20.6月に「まちづくり基本条例」が制定、H22.6月に「高根沢町まちづくり協働推進計画」が策定され、本町が目指すべき自治の姿を具現化していくための道しるべが示されました。
		地域経営計画(後期計画) 該当ページ	P. 13		
担当部課	住民生活部 住民課	担当	協働推進 担当		
		リーダー	斎藤 耕太郎		

1. 住民意識調査結果

21年度(10月実施)		25年度(※実施予定)		26年度(※実施予定)	
満足度	-6.0%	満足度	第 位/全 施策	満足度	第 位/全 施策
	第25位/全36項目(町民との協働による地域経営)				
	-6.7%		第 位/全 施策		第 位/全 施策
	第27位/全36項目(資源を生かす地域経営)				
優先度	47.2%	優先度	第 位/全 施策	優先度	第 位/全 施策
	第23位/全36項目(町民との協働による地域経営)				
	56.5%		第 位/全 施策		第 位/全 施策
	第16位/全36項目(資源を生かす地域経営)				

満足度:「満足である」、「どちらかと言えば満足である」を合計した割合から、「どちらかと言えば不満である」、「不満である」を合計した割合を差し引いたもの

優先度:「優先すべき」、「やや優先すべき」を合計した割合から、「あまり優先しなくてよい」、「優先しなくてよい」を合計した割合を差し引いたもの

2. 施策の目標

指標	基準値	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
指標1:事業の担い手の精査 (行政評価における、事務事業(政策経費)の点検率)	H21年度	計 画	100%	100%	100%	100%	100%
	未測定	実 績					
指標2:役割分担に向けた意識醸成 (補助金等交付申請、実績報告時における、行政と実施主体の協議の実施率)	H21年度末	計 画	100%	100%	100%	100%	100%
	100%	実 績					
指標3:		計 画					
		実 績					
指標4:		計 画					
		実 績					
指標5:		計 画					
		実 績					
指標に関する特記事項							

進捗状況の区分 ↑:目標以上の成果があった →:目標通りの成果があった ↓:目標に至らなかった △:遅延・未着手等 ×:見直し・廃止等

4. 施策傘下事務事業

5. 施策評価

自己評価(部)	後期計画における施策展開のビジョン	H23年度の狙い
	後期計画では、「高根沢町まちづくり基本条例」及び「高根沢町まちづくり協働推進計画」に基づき、協働を行政運営の基本に据えて、施策や事業を展開して行きます。 職員の「意識」や「スキル」を高め、予算編成や事務事業評価などのさまざまな機会を通じて執行方法の見直しを行い、協働の推進に努めて行きます。 また、公共サービスの提供方法について、協働の視点から新たな手法の導入を進めて行きます。	平成14年度から実施している行政評価システムを活用し、事務事業(政策経費)及び、補助金、交付金について、常に「公共サービスのあるべき姿」について、職員一人ひとりが精査しながら執行するということを徹底します。 また、それらの情報を公開し、ご意見をいただくことにより町民の皆様との協働を進めて行きます。 さらに、公共サービスの新たな担い手についても、先進事例等を研究しながら、手法の妥当性や効果を十分に検証した上で導入を検討して行きます。
総合評価(町長)	総合評価	
	協働の推進にあたっては、行政評価を活用しながら、職員の意識醸成を図ることも必要だが、更なる浸透を図るとすれば、職員のスキルアップに尽きると考える。 協働の視点は様々な形態が考えられるので、ひとつの型に捉われないこと、色々な角度から物事を立案できる能力の養成や町民から信頼されるための能力の開発など、行革分野における組織力の強化や財政力の健全化と同様に、職員のスキルアップを図るとともに、協働の視点を持った多面的な手法を検討しながら推進を図ること。	